

日本製鉄グループ内で発生した5件の災害を報告します。
類似災害防止に活用下さい。

<日本製鉄グループ災害の概要>

1	11/30	山陽特殊製鋼株式会社 SSM I (インド) Conditioning工場
・被災者	36歳	M/s Kunal Enterprises
・休業見込	不明	
・傷病名	左大腿部裂創、骨折	
・概要	鋼材結束作業にて、治具を用いて成形作業中に鋼材束全体が旋回し、左足を挟まれ被災した。	
2	12/1	(株)スガテック J F E スチール(株)東日本製鉄所 千葉地区
・被災者	49歳	(株)スガテック関東支店/(株)サンシ
・休業見込	14日	
・傷病名	右橈骨尺骨遠位端 関節内骨折	
・概要	ヘッダー組立作業中、上部から既設バルブハンドルが落下し、右手首に接触した	
3	12/9	東日本製鉄所 鹿島地 鉾石地区
・被災者	37歳	鴻池運輸(株)/(株)リヴァックス
・休業見込	死亡	
・傷病名	窒息死の疑い	
・概要	シュート内部を水洗作業中、鉄鉾石粉が崩落し被災した	
4	12/10	International Crankshaft Inc.
・被災者	44歳	型準備
・休業見込	未定	
・傷病名	右足第1趾,2趾及び3趾先端部切断、右足甲骨骨折	
・概要	金型の組付け作業中、ボルスターが輪木から滑り落ち、作業者の右足が挟まれた	
5	12/16	日鉄テックスエンジ株式会社 堺冷延めっき工場
・被災者	52歳	堺機械保全グループ
・休業見込	未定	
・傷病名	脳挫傷、右肺挫傷、右多発肋骨骨折、右肩甲骨骨折	
・概要	可動フロアレールの修理作業を補助しようとしてピット上部から転落した	

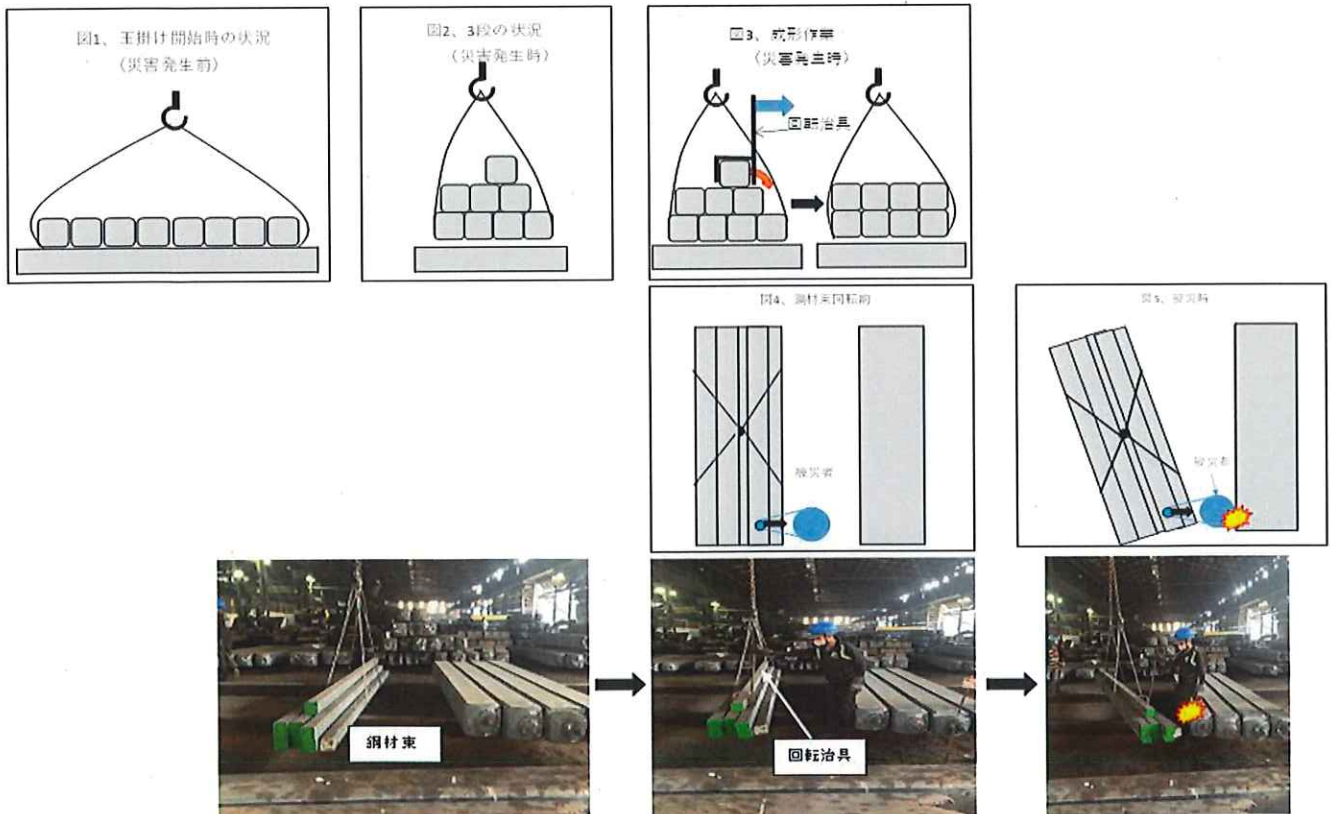
休業災害速報(協力会社)

発生事業所	SSMI(インド)		発生日時	2022年11月30日(水) 12時50分頃		
発生場所	Conditioning工場 B検査台		作業区分	定常作業		
被災者	所属	M/s Kunal Enterprises	役職	一般	勤続年数	2年6ヶ月
			年齢	36才	作業経験	2年6ヶ月
	氏名	A氏	性別	男	(構内経験)	2年6ヶ月
傷病名	左大腿部裂創、骨折				休業見込み日数	不明

災害の概要 **鋼材結束作業にて、治具を用いて成形作業中に、鋼材束全体が旋回し、左足を挟まれ被災した。**

- 災害状況
- ・クレーンオペレーターBと玉掛け作業員2名、被災者AとCは検査後の材料(110RCS、8本、3.9t)の結束作業を開始した。(図1)
 - ・玉掛け者はワイヤーを材料にかけクレーンオペレーターに合図を送り、クレーンで材料を吊り上げたところ材料が3段となった。(図2参照、下段4本、中段3本、上段1本)
 - ・被災者Aは、上段の1本を中段に落とすために、鋼材回転治具を用いて成形作業(図3)を開始した。(8本を3段で結束すると結束後の荷崩れ等による番線切れや集積時に重ね積みできない理由から、正角になるように材料束を成形する必要がある。)
 - ・被災者Aは、鋼材束を吊ったまま上段の1本に治具をかけ、自分の立っている方向へ鋼材を回転させ落とそうとした。(図4)この時、地切り状態の鋼材が治具に掛けた力により、鋼材束全体が自分の方へ旋回した。(図5)
 - ・被災者Aは、旋回した鋼材束と被災者の後ろに置いてあった鋼材(300RCS材)との間で左足を挟み被災した。

(発生状況の図、写真など)

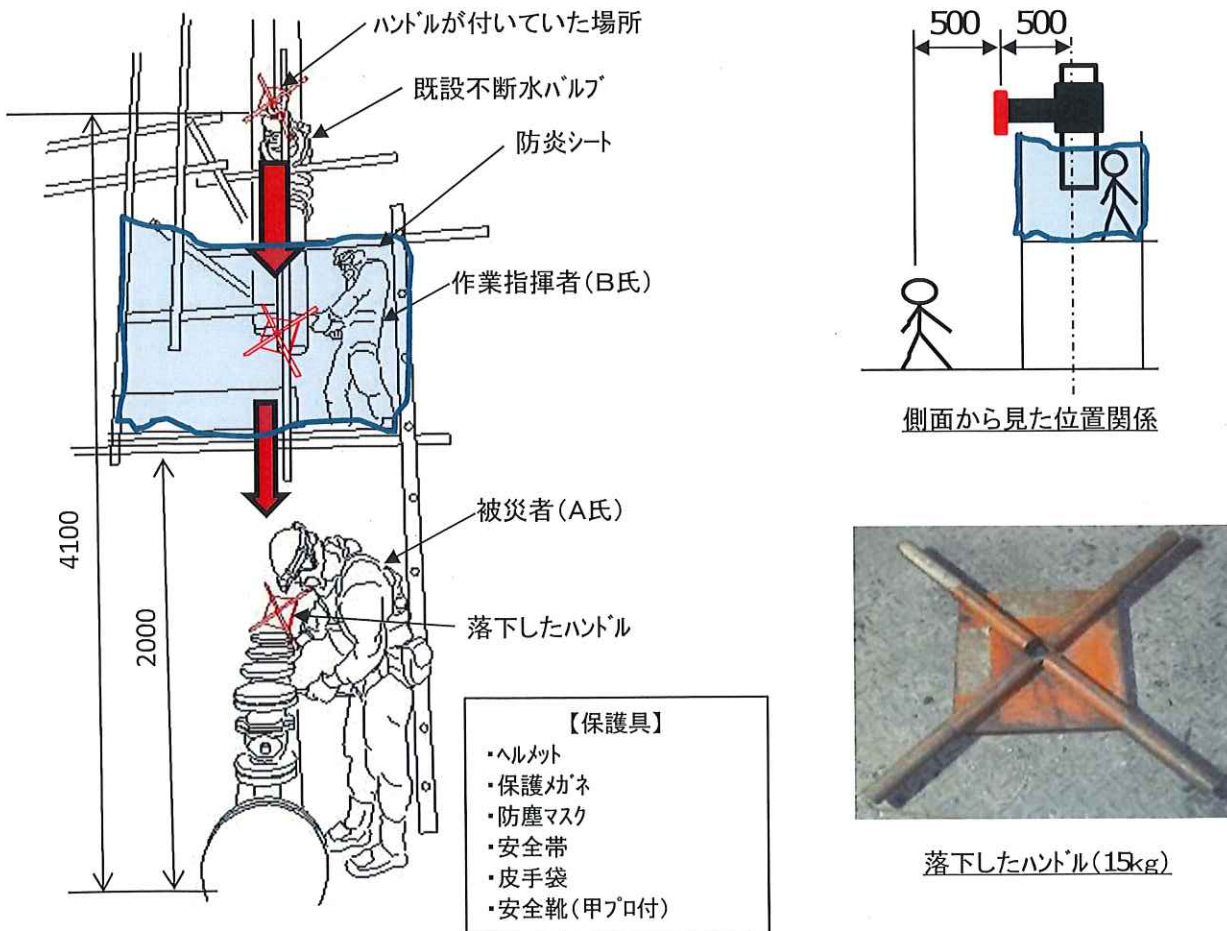


休業災害報告書(協力会社)

発生箇所	JFEスチール(株)東日本製鉄所 千葉地区		発生日時	2022年12月1日(木) 16時52分頃		
発生場所	千葉6高炉 熱風炉		作業名	6高炉 3次改修 熱風炉冷却配管敷設		
被災者	所属	(株)スガテック関東支店/(株)サンシ	役職	一般	勤続年数	31年7ヶ月
	氏名		A 氏	年齢	49才	作業経験
	傷病名	右橈骨尺骨遠位端 関節内骨折		性別	男	(構内経験)
休業見込み日数						14日
災害の概要	ヘッダー組立作業中、上部から既設バルブハンドルが落下し、右手首に接触した					

災害状況

8:30 始業前ミーティング・フェイスチェック
 9:00 現場到着、KY実施後、熱風弁給排水ヘッダー上架及び、組立作業を開始
 ※以降、熱風弁給排水ヘッダー組立作業を実施
 15:50 休憩後、KY実施し、ヘッダー組立作業、既設配管の切断作業を開始
 16:52 足場上にて指揮者Bが既設配管の切断作業を実施中、セーパソーの振動にて、既設バルブのハンドルが落下した
 近傍下部にて、被災者Aが熱風弁排水ヘッダー組立作業中、上部から落下してきたハンドルが右手首に接触した
 16:53 現地にいたプラントエンジニアSVが救急車を要請
 17:10 救急車到着
 17:45 千葉メディカルセンター到着
 19:34 レントゲン撮影し、右橈骨尺骨遠位端 関節内骨折と診断



死亡災害報告書(協力会社)

発生箇所	東日本製鉄所 鹿島地区		発生日時	2022年 12月 9日(金) 14時45分頃		
発生場所	鉱石地区 1篩分設備 D-12シュート内		作業区分	清掃作業		
被災者	所属	鴻池運輸(株)／	役職	一般	勤続年数	0年 8ヶ月
		(株)リヴァックス	年齢	37才	作業経験	4年 10ヶ月
	氏名	A 氏	性別	男	(構内経験)	(0年 8ヶ月)
傷病名	窒息死の疑い			休業見込み日数	死亡	
災害の概要	シュート内部を水洗作業中、鉄鉱石粉が崩落し被災した					

災害状況	7:45 被災者A・作業リーダーB・同僚Cの3名は、現場事務所で朝の全体ミーティングに参加した。
	8:10 被災者Aを含む作業員3名は、元請け監督者Dと当日の作業内容を確認後、作業現場に向かった。
	8:30 作業員3名は、作業現場で作業前TBMを実施し、D-11スクリーンの水洗作業を開始した。
	12:50 昼休憩後、作業員3名は、D-12シュートの水洗作業を開始した。
	14:45 被災者Aがシュート内部で水洗作業を実施している時、シュートの外で作業していた作業リーダーBは異音を聞いたためシュート内部を確認すると、鉄鉱石粉が崩落している状況を確認した。
	14:54 救急車を要請した。

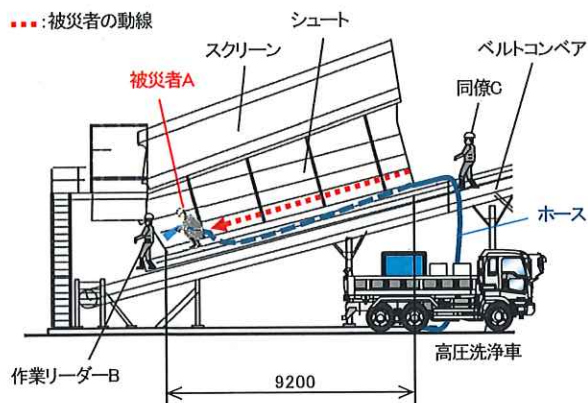


図1 D-12 側面図
(被災時の作業配置および被災者Aの動線)

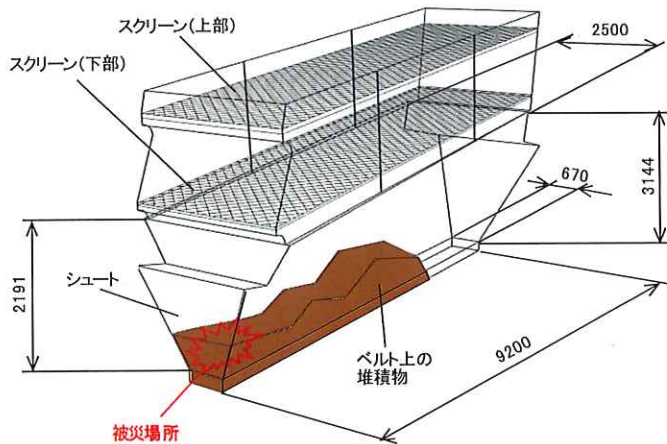


図2 スクリーン・シュート鳥観図
(被災後の状況)

休業災害速報(社員)

発生事業所	日鉄テックスエンジニアリング(株)		発生日時	2022年12月16日(金) 13時33分頃		
発生場所	堺冷延めつき工場 12Mコイルカーペット		作業区分	修理作業		
被災者	所属	日鉄テックスエンジニアリング(株) 堺機械保全グループ	役職	作業長	勤続年数	33年8ヶ月
			年齢	52才	作業経験	33年8ヶ月
	氏名	A 氏	性別	男	(構内経験)	(33年8ヶ月)
傷病名	脳挫傷、右肺挫傷、右多発肋骨骨折、右肩甲骨骨折				休業見込み	未定
災害の概要	可動フロアレールの修理作業を補助しようとしてピット上部から転落した					

災害状況	8:35 職場の管理者である被災者Aは、当日の作業内容が突発工事(12Mのフロアレール修理)に変更になったことを作業者に伝えた。
	9:30 作業指揮者Bと作業者5名で作業前TBMを実施した後、作業を開始した。
	12:45 昼休憩後、作業指揮者Bは同僚5名と午後の作業に関するTBMを実施した。
	13:00 曲損した作業デッキの取り外し及び、フロアレール取外しを開始した。
	13:30 作業の進捗確認のため現場にいた被災者Aは、フロア上からコイルカーペットに入り、オイルセラーに転落した。
	(推定) 被災者Aは、可動フロアレール取付ブラケットと作業デッキを固定している締結ボルトを弛めようとした際にオイルセラーに転落した。
	13:34 救急車を要請した。

